

2025 吃音指導講座

吃音のある方が生きやすくなるための発語指導の実際

— 発語指導のための指導者のスキルアップ実技研修 その5 —

● 吃音に対する流暢性形成での“基本スタンス”

- “楽な発語での言語活動の経験”は、吃音で悩む方にとっては、“生きやすさ”を支える一つの土台となり得ると考えます。
- 「吃音が出る時は、どのような吃り方や随伴症状になるか？」ではなく、
「**吃らない時は、どのように、楽な声で発語しているのか？**」を把握するようにしてみませんか？



● 発語指導に対する基本スタンス“共調発語指導法”〔抜粋〕

- ◎ “共調発語指導法”では、それぞれの個人が『**どのように楽に声を出しているか**』の把握に最大の注意と関心を向け、吃音検査や会話での発語の様子を注意深く観察します。
- **幼児さんの場合**、その子の“楽な発語の状態を把握し”それを指導者が模倣して、同じ様な“楽な発語”で話しかけていると、吃音が減少してくることがあります。
- **学校での音読が**、今までよりほんの少しでも楽にできると、それだけでも物凄い自信になり、学級での自発的な発言が多くなる子もいます。ですから、吃音のある子に対する指導方針に『音読指導』を位置づけ実行することは、豊かな学校生活をもたらす大切な指導と考えています。

◎ 2025 吃音指導講座の内容〔指導事例の紹介は、全て動画の視聴で〕

《 相談室での指導を受けて — 吃音との歩み そしてこれから — 磯野 直春さんの体験談をお聞きましょう 》

- ① 共調発語指導法での非流暢性に影響を与える指導技法の紹介と解説
- ② 「ジャックと豆の木」の音読での『楽な発語』の把握
- ③ 発語指導のための指導者のスキルアップ【**実技 その5**】
 - 「子ども」と“指導者”を交代しながら、「子ども」の声に“指導者”の声を合わせる体験をしよう
 - **ことばを使ったゲーム**を通しての発語指導を体験してみよう！
- ④ 「朝の会の進行を自力でしたい！」と来室した中学2年生次元君への指導の実際
- ⑤ 「絵カード合わせゲーム」「お話作りゲーム」等、様々な指導の紹介と実施上の留意事項の解説

山形言語臨床教育研究会 代表 梅村 正俊

主 催；山形言語臨床教育研究会・山形言語臨床教育相談室

開催期日：2025(R7)年10月11日(土)～12日(日)

場 所：山形市市民活動支援センター（霞城セントラル23階：高度情報会議室）

講 師：梅村 正俊（山形言語臨床教育相談室：言語聴覚士）



【講座参加費】 ① 初参加の方=10,000円 ② 参加経験者の方=8,000円 **募集定員：12名**

※ 大学生・専門学校生等々の方：無料(先着5名様迄)

【参加の条件】 全日程の参加

【参加申込の方法】 必要事項を**楷書**で記載し、**FAX**で、お申し込み下さい

【参加申込の締切】 10月3日(金) … 定員になり次第締め切ります

【問い合わせ先】 山形言語臨床教育相談室 **※ お問い合わせは、全てFAXでお願い致します。**

990-2483 山形市上町 5-11-24 **FAX専用：023-646-6492**

① 演習形式での進行が基本

② 質問がある場合は、講話の途中であっても、話をさえぎってでも質問して下さい！

お断り：参加者の更なるご要望により、当日の内容・日程が変更されることがあります。
できるだけご要望にはお応えしたいと考えています。予め、ご了解ください。

10月11日（土） ※ 登場するお子さんの名前は、全て仮名です

受付

9時30分～10時頃

10時～11時頃30頃（途中10分程度休憩）

■ 共調発語指導について

- まずは、実際の指導を見てみましょう（視聴とその解説）

第3回日本吃音・流暢性障害学会発表動画から

AD+St幼 — 吃音と発音の誤りを主訴に来室した年少男子への発語指導 —

① 楽な発語の状態

③ 構音指導での発語指導

② 『平行同時音読』と『共調同時音読』の違い

④ 指導終了の状態

- 『共調発語指導の基本原理や基本的な指導方法』

St24 「非流暢性に与える方法での分類」及び「共調発語指導の適用領域による分類」

テーマ：「声を合せる練習」から『非流暢性に影響を与える指導技法』へ

St29 — 共調発語指導法での非流暢性に影響を与える指導技法の紹介 —

St31b 『共調発語指導』の理解 — 平行同時音読と共調同時音読 —

11時頃30頃～12時頃

■ 吃音指導講座：課題「ジャックと豆の木」の音読での『楽な発語』の把握

- ① 21課題：茂君の「ジャックと豆の木」の音読での楽な発語の状況は？

ご注意：以前の講座で経験された方は、再度、答を見ながらでも自主練習を！

昼食・休憩

12時～13時頃

13時頃～13時30分頃

- ② 次元君の「ジャックと豆の木」の音読での楽な発語の状況は？

【『楽な発語の把握』では、初登場です。】

13時30分頃～14時頃

■ 「指導対象者の声」に「指導者の声」を合わせる実技研修【その5】

- まずは、実際の実技研修を見てみましょう《オリエンテーション》

St16 第2段階の研修＝子どもの声に指導者が声を合わせる実技 新01/02

St17 第2段階の研修＝子どもの声に指導者が声を合わせる実技 新02/02

14時頃 ～ 17時30分頃〔途中2回、1回20分程度の休憩〕

■ さあ、実技です。グループ付のアドバイザーが進行します。

● 1グループ4～5名に分かれます ● 1グループ毎に、アドバイザーが付きます

予備視聴：小学4年女兒さんと子さんへの発語指導：約45分間の指導の中での変容

夕食・休憩 17時30分頃 ～ 18時30分頃

18時30分頃 ～ 20時30分頃

○ ことばを使ったゲームを通しての発語指導を体験してみよう！

【絵カード合わせゲーム、お話作りゲーム等、様々な指導の紹介と実施上の留意事項の解説】

① 2グループに分かれます

② 5～6種類のゲームについて、指導者役・対象者役を交代しながら実習します

1日目終了 20時30分頃

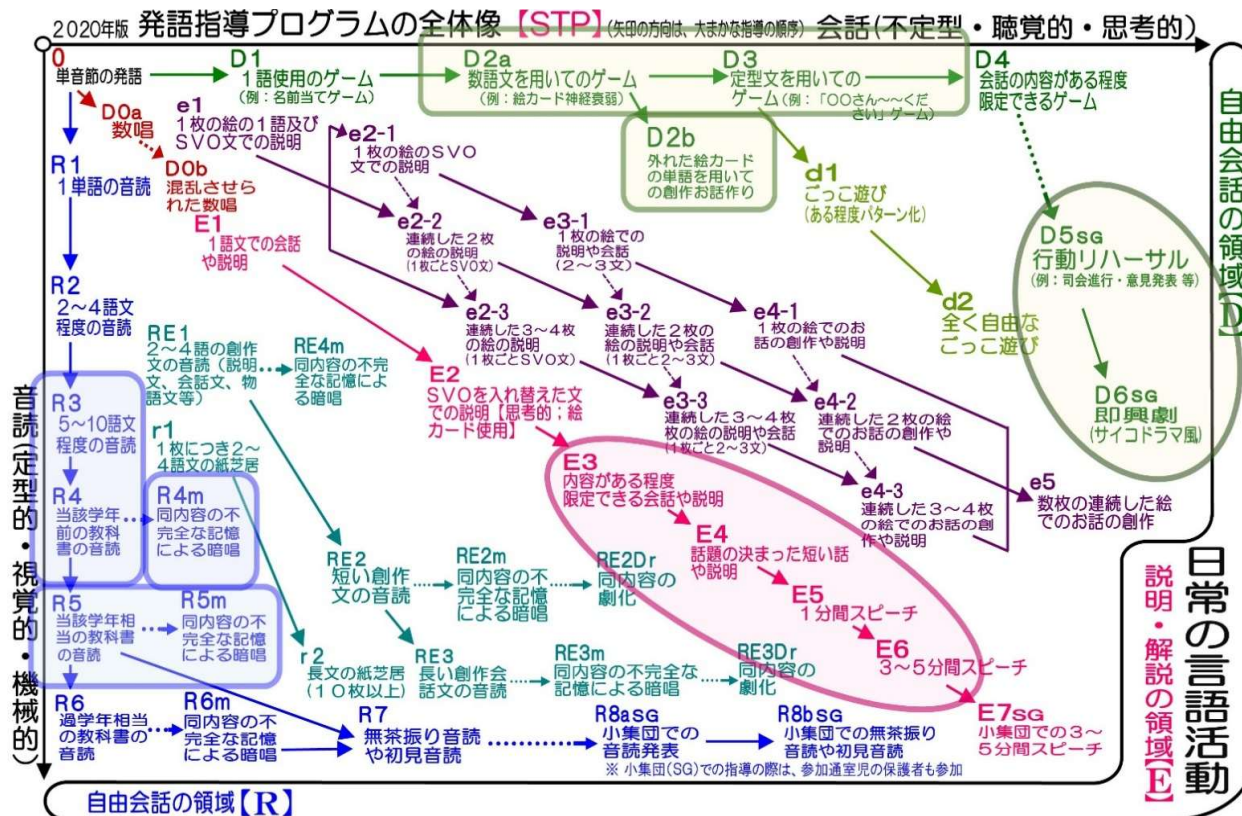
10月12日（日）

開 場 9時30分

10時 ～ 12時頃

“共調発語指導プログラム”の解説と指導例の紹介

≪ 講座でご覧になりたい指導内容がありましたら、申込書にご記入ください ≫



梅村正俊 1982 「8 朗読や買い物など人前で話すことを回避していた一彦君」 日本言語障害児教育研究会・山岸次郎編 言語障害児教育の実践シリーズ②どもり
梅村正俊 1975 吃音児の指導ースピーチ訓練の方法と類型化の試みー 言語障害研究 84号

改定：2025.07.14

と と と に囲まれた指導場面について、視聴・解説を行います

13時頃～13時30分頃

相談室での指導を受けてー吃音との歩みそしてこれからー

磯野さんは、中学校時代に当相談室で発語指導を受けた方です。

この度、誰もが知る某企業に採用されることになりました。その喜びを伝えたいと連絡をくれたのでした。

採用試験では、数人の重役さんとの面接もあったそうです。そんな時、相談室での練習があって良かったと感じたそうです。『直す努力の肯定?』だそうです。

そのあたりのお話を聞いてみませんか？

13時30分頃～15時頃

■ 「朝の会の進行を自力でしたい！」と来室した中学2年生次元君(仮名)への指導

☆ 視聴のポイント

- 吃音頻度検査での様子
- 音読素材の作成の方法
- 共調音読指導の流れ：幾つかの指導テクニック



※ 次元君についての基本的な情報は、右のQRコードからの動画をご視聴ください

「朝の会の進行を自力でしたい！」と来室した中学2年生次元君(仮名)への指導〔Before-After〕

15時頃～16時30分頃

○ 視聴希望のあった指導場面の視聴と解説

茂君の「ジャックと豆の木」の音読での楽な発語の状況は？

【課題記入用紙】

共調発語指導で目標とする発語の状態は、音読であれフリートークやプレゼンなどの発話であれ、楽な発声から得られる楽な発語です。

例えば、強いブロックで、奇異な随伴動作の伴う吃症状が認められる場合であっても、「さかな」を発語するとき、語頭の「サ」に出現した吃症状が、「カ」にも「ナ」にも出現することはとても稀です。また、語頭に出現しないで、「カ」や「ナ」に出現することも、とても稀です。

特に、小・中学生の場合、語頭や文頭、つまり、「サ」に吃症状が出現したとしても、次の「カ」や「ナ」の発語は、喉の力みの無い楽な発語になっていることの方が多く観察されます。

ですから、共調発語指導では、発語指導上、「非流暢性の状態」よりも『楽な発語の状態』の把握をポイントに発語を観察します。

そして、その『楽な発語の状態』を維持した状態で、音読やプレゼンの練習を行います。

実際の指導での『共調発語指導の基本』は、以下の2点です。

- ① 『音読指導の視点になる**楽な発語**での音読』になっている“単語や句”を**即座に聞き分け、把握**することができる
- ② 把握した『楽な発語』が持続するように、**指導対象者の声に**『指導者自身の声を合わせる』ことができる

ですから、共調発語指導では、『側音化構音に対する指導で、構音時の“顎の偏位や舌の膨らみ”等々に対する指導を行わない（関心を持たない）方が、楽しく効果的に指導ができる』のと同様に“どのような非流暢性か、どのような随伴動作が生起するのか”に関心を持つ必要はないのです。

1日だけの講座で、習熟することは困難です。ですから今回は、以前講座に参加された方にも再度体験をしていただければと考えています。

『共調音読指導』の参考に、下記の指導を[YouTube](#)や[相談室HP](#)でご覧下さい。

- ◎ 吃症状に対する共調音読指導の『即効的な効果』：小学3年生由加さんの場合
- ☆ 共調音読指導の紹介：小学3年生由加さんの場合【本編】
- ◎ 吃症状に対する共調音読指導の『即効的な効果』：大学4年生小梢さんの場合
- ☆ 共調音読指導の紹介：大学4年生小梢さんの場合【本編】

下記の指導事例の児童は、『本講座課題』のモデルになった小学5年生の茂君です。

St23 共調発語指導の紹介：小学5年生茂君の場合【本編】

St24 吃症状に対する共調音読指導の『即効的な効果』：小学5年生茂君の場合



【課題記入用紙】

< 課題 >

共調発語指導では、指導上、「非流暢性の状態」よりも『楽な発語の状態』を把握することをポイントに発語（音読）の状態を観察します。以下の音読の結果は、茂君の吃音音読検査「ジャックと豆の木」の連続5回音読での5回目の音読です。

_____ は、比較的楽な発語で音読をしている箇所を示しています。その中でも、茂君の音読指導上『特に、音読指導の視点になる 楽な発語での音読』の状態と考えられる単語や句を **1 6箇所** 選んで、好きな **印** をつけて下さい。



A むかし ⁰¹ある ⁰²ところ に ジャック と いう 男 の こ が い ⁰³まし た。

B ジャック ⁰⁴の ⁰⁵うち は お ⁰⁶とうさん が ⁰⁷なく ⁰⁸びんぼう ⁰⁹でし た ¹⁰ので

C ジャック は がっこう へ 行く こ と も ¹¹でき ¹²ませ ん でし た。

D とうとう ¹³うち ¹⁴に は パン も ¹⁵なく ¹⁶なり ¹⁷牛 が ¹⁸いっぴき ¹⁹いる

E ²⁰だけ ²¹に ²²なっ て ²³しまっ た ²⁴ので ²⁵ある ²⁶とき ²⁷お ²⁸かあさん が

F ²⁹ジャック ³⁰に ³¹いい ³²まし た。³³「まち ³⁴へ ³⁵行っ て ³⁶この 牛 を

G ³⁷売っ て ³⁸おいで ³⁹そして ⁴⁰その お ⁴¹かね で ⁴²パン や ⁴³おまえ の

H くつ や ⁴⁴ズボン を ⁴⁵買い ⁴⁶ましよ う。」 ジャック が ⁴⁷牛 を ⁴⁸つれ て

I げんき よく ⁴⁹まち ⁵⁰を ⁵¹あるい て ⁵²いる ⁵³と ⁵⁴ずっと ⁵⁵むこう の ⁵⁶ほう

J から ⁵⁷ひとり の ⁵⁸おじさん が ⁵⁹フラフラ と ⁶⁰やって ⁶¹き ⁶²ました。

K ⁶³「どうだね ⁶⁴ぼうや ⁶⁵その 牛 と ⁶⁶この ⁶⁷豆 ⁶⁸を ⁶⁹とりかえ ⁷⁰ない か ⁷¹ね。」と

L ⁷²おじさん が ⁷³いい ⁷⁴ました。みる と ⁷⁵それは ⁷⁶たいへん ⁷⁷きれいな ⁷⁸豆

M ⁷⁹でし た ⁸⁰ので ⁸¹ジャック は ⁸²むちゅう で ⁸³とりかえ て ⁸⁴しまい ⁸⁵まし た。

